

これは完全にご遺体の探索ということで、海上保安庁との合同探索を行いました。

こういうように瓦礫がいっぱいの中、当然家も流れついていますし、水中にも瓦礫がたくさんあります。その中をロボットで検索をしなければなりません。当日は自衛隊の空から、あるいは海からの検索も同時に行われていました。そういった状況で実際に探索活動をしてまいりました。



これがロボットの映像です。これは沈んだ車ですが、水中ロボットを投入してこの様に近寄って、中にご遺体があるかどうかをチェックします。

これは本当にびっくりしたのですが、正にご遺体ではないかと思ったのですが、ずっと近寄っていくと実はそうではなくて手袋だったと。このときは本当にどっきりしました。



やはりこういう瓦礫の下というのはダイバーが潜るのは非常に危険です。もう一つ、10メートルよりも深いところは潜水病があるので、これもダイバーにとってはリスクが高いのです。

ですから浅いところでもこういった瓦礫があるところ、あるいは10メートル以上深いところは水中ロボットが役に立つ可能性があるところです。

ロボットを投入して、先程の家の屋根を下から見ただ映像です。天井の方を見えていますが、そのあた

りに何かないか、もちろんその下にご遺体がないかと探索をしました。ここはまだ透明度が比較的良かったのでビジョンだけでもある程度見ることができました。



ここに、紐が見えると思いますが、これは天井からぶら下がっていたライトです。そんな物も見えました。

この様にして、南三陸町と陸前高田市へ行って、港の状況のチェック、あるいはご遺体の探索という活動をやってまいりました。



結果として、海までのアクセスに非常に時間を費やしたので、実質それほどの探索はできませんでした。船があれば10メートル以上の深いところをロボットで探索することも有効だと思っています。

今回、水中ロボットを持って被災地に行ってきたわけですが、これは自治体からの要請で行ってきたのでその意味で非常にやりやすかったですし、自治体や海上保安庁との協力の重要性を非常に強く感じました。

我々、自己完結で活動しなければなりませんので、安全に関して、それから輸送や自分たちの水・食料についてもそうですが、全て自分たちで賄うということが最低限の必要なことです。それらを用意して、ご遺体の探索、あるいは港の復旧復興

のための障害があるかないかという調査をやってまいりました。

結果

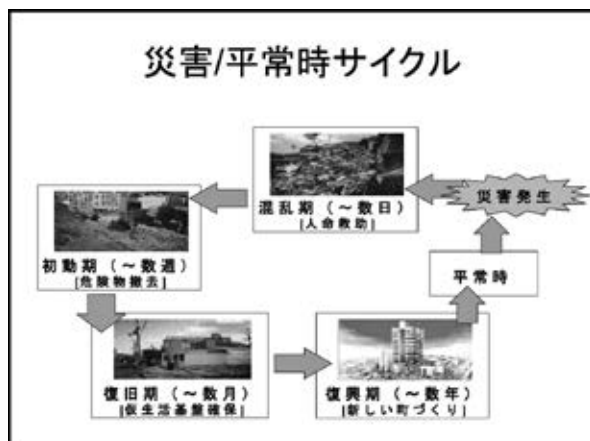
- ・ 探索箇所 6箇所
- ・ 探索法 ソナー反応があった物体に接近視覚的に確認
- ・ 探索時間
 - － 探索地域(海岸)までのアクセスに時間を費やす
 - 南三陸町 約3時間30分
 - 陸前高田市 約8時間30分
- ・ 結果
 - 南三陸町 新漁港の復旧に目処(水深5mより上に障害物なし)
 - 陸前高田市 ご遺体発見には至らず
- ・ 知見・課題
 - － 水中ビークルの正確な位置制御
 - － 地理情報システムとの連動(マッピング)
 - － ヒューマンインターフェイス
 - － 画像の遠近感 (Object cueing)
 - － センサ融合
 - － 有線ケーブルの取り回し

まとめ

- ・ 水中ロボットの必要性
 - 多くの自治体から出動要請
 - ダイバーにとって危険な場所が多く存在
 - 透明度が悪い(30-50cm程度)
 - ソナーとカメラの協調運用
- ・ ミッション(自己完結:ロジスティクス・安全確保)
- ・ 水中のご遺体探索
 - 今回の探索では発見できず
 - 自治体、海上保安庁、自衛隊との協力
- ・ 港の復旧・復興
 - 航路の確保のため海中の障害物の探索と地図作成

おわりに

私は災害ということをテーマに研究開発をやっているのですが、災害が起こると混乱から初動に入って復旧から復興というフェイズになり、また平常に戻る。このサイクルをずっと繰り返します。レスキューは混乱期だけでいいのではないと思います。常にこのサイクルを考えて安全安心を考えていく、そういった中でシステムを構築していく必要があるだろうと思っています。



また、災害対応に工学だけでいいかというと、そうではないと思っています。工学は物理的な障害を除去するもの、医学は体にある身体的な障害を除去してくれます。その二つは緊急時に必要だと皆さんある程度は分かって下さるのですが、心理学、これも実は非常に重要で、我々の心の障害を除去してくれます。被災者の方々はもちろんですが、救援に入っているレスキュー隊員や支援者の方々も被災地で非常に凄い体験をしているわけです。そういう人たちのメンタルケア、これも非常に重要です。

安全・安心社会構築のための レスキュー学(松野、河合:2001)

工学・医学・心理学・の三位一体

工学
医学
心理学
政治・経済・行政
被災者・災害被害者のメンタルケア

そのバックグラウンドには当然、政治や経済がありますので、その状況をよく理解した上で、行政や現場とうまく連絡をとって連携をしてレスキューを進めていく。これが重要だと考えています。

今回の震災は、津波、地震、原発事故という複合災害ですが、この講演では原発については触れておりません。原発についても今後いろいろな形で、これは長いスパンで様々な取り組みをする必要がありますので、その準備をしているところでございます。

今回ご紹介したようなロボット技術や、情報技術を使って、国際救助隊のようなものが本当にできて、世界のどこかで何か災害があったら、日本からそういった部隊が出動して人命救助や災害からの復旧復興を支援する、そういうことができれば、本当の意味で、平和国家としての国際貢献になるのではないかと考えております。

以上、国際救助隊サンダーバードのようなものができたらなということで終わらせていただきます。本当に今日は貴重な機会を与えていただきまして、誠にありがとうございました。

学内ニュース

「電力供給不安と節電対策」をテーマに第四回東日本大震災緊急講演会を開催

名古屋工業大学は6月6日、東日本大震災に関する第四回緊急講演会を財団法人省エネルギーセンターとの共催で行った。今回は、発電所の被災による東日本での電力供給不足、さらに浜岡原子力発電所の全停止を受けて「電力供給不安と節電対策」をテーマに実施した。

当日は、鵜飼裕之（副学長、創成シミュレーション工学専攻教授）、大河内敏博（財省エネセンターエネルギー使用合理化専門員）、鈴木 清治（財省エネセンター省エネルギー普及指導員）、青木 睦（情報工学専攻准教授）を講師として、大規模な電力供給不足に至った経緯とその要因を分析することで、わが国の電力需給システムが抱える問題点を明らかにし、加えて節電の必要性を検証するとともに事業所および家庭で実施できる具体的な節電対策とその効果について報告した。

会場には職場や家庭での節電の参考にしようと多くの参加者が集まった。

名古屋工業大学では、東日本大震災緊急講演会を定期的に開催いたしております。詳しくは大学ホームページをご覧ください。

なお、第三回の緊急講演会の内容を次号ごきそに掲載を予定しております。（事務局）



講演者：左から鵜飼教授、鈴木指導員、大河内専門員、青木准教授

名古屋工業会の本部関係会議情報（平成23年3月～23年4月）

○運営委員会 4月12日(火)18:00～

- 議題1 平成22年度収支決算案について
収支決算書案を提示し、承認
毎年の収支差の改善について検討が必要
- 2 平成23年度事業計画及び収支予算案について
事業計画案に「大学に設置された卒業生連携室との連携」について記載することで承認
- 3 各委員会の活動について
22年度事業報告を承認
- 4 一般社団法人の定款案等について
移行スケジュール、定款案の一部修正、代議員の数等について修正案を承認

○理事会 4月23日(土)13:00～

- 議題1 名古屋工業大学の近況について
鵜飼副学長から近況報告
- 2 平成22年度事業報告並びに収支決算案について
監事から、収支のマイナスの改善について検討依頼があり、全体について異議なく承認
- 3 平成23年度事業計画並びに収支予算案について
異議なく承認
- 4 一般社団法人の定款について
定款案のポイント及び定款案を提示し承認
- 5 その他
第5回通常総会の実施案を承認

情報 ネットワーク

名古屋工業会尾張支部総会

今回の総会は、平成23年4月16日(土)に、稲沢市民会館小ホールで盛大に開催できました。

当日は来賓として、本部理事長・篠田陽史様(M33)と名古屋工業大学・理事&副学長・木下隆利先生(W50、院52)をお迎えし、会員の参加者は36名でした。

第1部の支部総会に先立って、3月11日に発生した東日本大震災によって亡くなられた方々と尾張支部物故者の皆様のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。次いで、玉田支部長挨拶、篠田理事長に来賓挨拶をお願いしました。続いて、平成22年度事業報告、同会計報告、同会計監査報告(音無監事)、平成23年度事業計画(案)の説明を行い、承認を得ました。

第2部は特別講演。講師は前記の来賓・木下隆利先生に、『名古屋工業大学の現状について』お話しいただきました。先ず、今回の東日本大震災を受けて、大学では現地調査をされた防災安全部門長・渡辺研司教授(社会工学専攻)が4月13日に第一回緊急講演会「経済復興のための提言」を開催。4月22日には第二回「津波被害と地盤の液状化とインフラ機能の低下について」を開催。

木下先生は学内で研究&産業を担当とのことで、大学が独立法人化後、文部科学省からの運営費交付金は平成16年度55億円から徐々に減り、平成21年度48億円となったのに対し、大学の自己収入他は平成16年度50億円から徐々に増え、平成21年度80億円。このことは、先生方が各分野で活躍されているお陰で、話題の研究成果をいくつか紹介していただきました。

松本健郎教授の研究チーム「動脈硬化の測定装置を開発」、江川孝志教授の平成22年度科学技術分野・文部科学大臣表彰「窒化ガリウム結晶成長とデバイスの実用化に関する活動」、藤正督教授の研究グループ「透明断熱フィルム(光95%通過、熱90%遮断)を開発」、4月6日に大学表門で除幕式が行われた徳田恵一教授・李研究室「世界初!双方向音声案内デジタルサイネージ」(大型ディスプレイに登場する3Dキャラクター“メイちゃん”が来校者の音声(5カ国語)を認識し学内を案内するという、世界

初の全天候型デジタルサイネージ)、平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)3件(4名:柿本健一准教授、神取秀樹教授、藤原修教授&平田晃正准教授)等。

さらに、木下先生関与の国際宇宙ステーション『きぼう』での実験課題「微小重力環境を利用した2次元ナノテンプレートの作製」についても説明していただきました。

第3部はミニコンサート。ソプラノ・長谷川恭子さ&久米真紀子さん、ピアノ・吉田絵奈さんでクラシックを楽しみ、アンコールでは全員で「上を向いて歩こう/坂本九」を合唱しました。



第4部は記念撮影。ミニコンサート出演者にも入っていただいたのスナップです。



第5部は懇親会。本部評議員&支部参事の服部重夫様(Y43)様に乾杯の音頭をお願いし、コンサート出演者も参加、立食パーティーで歓談、自己紹介タイムは大いに盛り上がり時間超過。中締めは、魚住養正様(W22)の発案で“がんばろうニッポン”を三唱して閉会しました。お陰さまで今回も楽しい総会を開催することができました。

記:尾張支部長 玉田欽也(W32)

双友会東京支部報告

3月11日に発生した未曾有の東日本大震災のため、今年の懇親会を催すことに躊躇いましたが、2ヶ月後のことでもあり例年どおり開催することとしました。

5月17日（火）新緑の皇居東御苑を望むKKRホテル東京の桜の間に首都圏在住の会員が集い、今回は名古屋から双友会会長 市橋洋志氏、また大阪から関西支部長 今井啓祐氏もご出席いただき、総勢15名が顔を揃えました。

定刻、東京支部長 山田寛氏の開会ご挨拶と乾杯の発声で開宴となり、何時ものことながら話題は御器所の思い出話から昨今の時局談義に至り、宴は佳境に入りました。

市橋氏より東海支部、今井氏より関西支部の活動報告をいただき、次いで長島氏よりパデュエ大学特別教授 根岸英一氏が、ノーベル化学賞を受賞されたのを機に帝人グループ名誉フォローに就任また同大学に冠講座を開設される予定など承りました。因みに同教授はかつて米国留学期間を含め約10年、帝人に在籍されていたとのこと。

早川氏の閉会ご挨拶でお開きとし、11月10日（木）に開催の名古屋工業会東京支部総会で再会することを約し、散会しました。

当日の出席者の氏名、卒業年次は下記のとおりです。

山田 寛(23)	早川吉郎(23)	飯田秀郎(33)
佐藤 誠(33)	森川 勲(34)	西口 浩(37)
倉島俊二(38)	高瀬達也(38)	中村 勤(38)
市橋洋志(40)	今井啓祐(40)	長島 徹(40)
魚住峰男(42)	谷口庄平(42)	印藤 嶠(43)

記：佐藤



第85回名工大ごきそ会報告

第85回名工大ごきそ会は、平成23年3月29日（火）に19名の会員の出席を得て、名門春日井カントリーで開催いたしました。出席された会員の方々の中には、久しぶりに来た方とか初めてといわれる方もおられ期待と少し不安（？）の中、そして天気も春の爽やかな息吹感ずる最高のプレー日となりました。競技結果は、久しぶりに出席されました目方十郎氏（D34）が、ネット86で優勝されました。2位は、ベテランであり年齢を感じさせない実力抜群の光行恵水氏（C31）がネット88でなられ、そして3位は、熟練の技を随所で発揮された篠田陽史理事長（M33）がネット89で獲得されました。やはり今回も実力ある方々が上位に入賞されました。

予定通りプレー終了後、懇親会の中表彰式をいたしました。いつもの通りプレー前に全員の写真を撮影いたしましたが、今回は、4人の方々が、プレーには間に合いましたが、交通事故に遭遇され、撮影に参加出来なくて14名の撮影になりました事をお詫び申し上げます。現在会員数も28名となり、今回も新しく入会されました水谷尚美氏（D42）が参加をされ5位に入賞されました。今後、会としても会員増強を図り、多くの方々が参加をしていただく様頑張っていきたいと思います。次回は、6月中頃にて、愛知カントリーで開催予定を確認しまして、散会をいたしました。

記：柴田 作（A42）



ごきそでパズル

言葉の中に名古屋市の区の名前がかくれています。何がかくれているのでしょうか？

(前回の答え)

- ① 公平無私 (主人公が平凡で無個性な私小説。)
- ② 意気投合 (強い意思と気合で投げ合う両エース。)
- ③ 三三九度 (三日前から三十九度の熱がある。)
- ④ 才色兼備 (才気と色気を兼ね備える。)
- ⑤ 無芸大食 (無名の芸人は大概食っていけない。)
- ⑥ 前人未到 (前の人達は未だ到達ならず。)
- ⑦ 笑止千万 (笑いが止まらぬ、一千万当たった。)
- ⑧ 小春日和 (小鉢の春雨は日替わりの和え物。)
- ⑨ 一念発起 (一途な信念のもと、発明で起業。)
- ⑩ 天下一品 (天下り先は一流食品メーカー。)

(例題) オ○ガ○マ

(答え) オニガシマ (西区)

問題

- ① ヤク○ン○イ○ヤ
- ② ○ビ○ロ○ンボ
- ③ ○トコン○○ア
- ④ ムキ○○○○ヒョウ
- ⑤ ○ダシ○○
- ⑥ ○イシュカ○○○
- ⑦ テイ○○○ービン
- ⑧ ケ○○○マ○シ
- ⑨ ○ト○ッ○ウ
- ⑩ イ○○ザ○○イ

解答は次号に掲載します。

パズル：稲葉直貴 (EJ⑬) 作

報 計

坂東長太郎	M15	H21. 1. 18	関戸研三	M16	H21. 11. 10	阪谷捨一	M23	H21. 8
伊藤隆博	W15	H22. 10	豊島清三	D20	H23. 3. 12	星野実夫	M23	H15. 9. 23
岩倉昌彦	D57		真野憲一	M20	H23. 2. 16	森田庄平	M23	H21. 10. 23
高橋要三	C 7	H21. 12. 25	清水弘	E 7	H23. 2. 13	安田英雄	M23	H18. 7
岡部三行	D23	H22. 2. 10	松田平	C 24	H23. 2. 3	広島敏彦	M23	
水野宏夫	E16		大平肇	D19	H22	山田敏彦	M24	H22. 1. 11
佐藤助人	E22		陶山宜尚(喜久)	M8	H19	加藤昭三	M24	
磯輪英一	C11		田中賢治	M10	H22. 2. 5	佐藤文雄	M24	H22. 6. 8
戸河里正	M23	H22. 11	井上杉千代	M11	H18. 2	木村安雄	M25	H21. 8. 24
松村好高	D10	H22. 8. 3	栢植正治	M11	H22. 5. 23	柴田定次	M29	H20. 2. 24
本田孝孟	Es45	H22. 4. 26	大平貞雄	M13	H21. 8	天野光彦	M30	
本林孝三	B41	H18. 11. 2	河合好彦	M13	H22. 5. 12	奥村正佑	M31	H22. 11. 26
西田鉦一	W37	H22. 11. 30	堀場功実	M14	H17	千葉芳文	M34	H21. 10. 9
渡邊要久	C25		黒岩澄	M15	H18. 11. 13	宮崎満二	M34	H18. 10
村松正夫	W10	H22. 11. 10	菅野寛	M16	H21. 4. 11	宮田恭二	M35	H20. 1. 21
浅川典夫	A20	H22. 6	宮地英安	M16	H22. 1. 2	森立亮一	M37	
三村俊夫	A23	H18. 6. 9	村上勝	M16	H19	國田清助	M39	H18. 4. 14
祖父江圭三	C17		浅井孝重	M16	H21. 10. 25	北崎巍	M43	H22. 4. 18
佐野良三	H22. 11. 15		山田重博	M16	H22. 2. 21	三輪(服部)信次郎	M16	H19.
天坂誠三	W7		池上博明	M18	H19. 6. 18	横井秀雄	M22	H18. 7. 16
西坂誠三	M16	H22. 12. 24	内田尚親	M19	H21. 12. 7	渥美守保	M22	H18. 7. 16
玉置鎮夫	M16	H23. 1.15	北住省	M20	H22. 1. 26	永井哲夫	M16	H21. 11. 13
鈴木健二	W19		倉橋勲	M20	H20. 3. 5	清水裕夫	M25	H19. 4. 4
加地泰雄	D⑥		小坂井茂男	M20	H18. 2. 8	清藤恒夫	M25	H20. 6.
高橋智雄	D30	H23. 2. 2	近藤光男	M20	H19. 10. 15	後村進	M25	H22. 4. 20
岡田鐘市	D20	H23. 1. 31	鈴木利男	M20		中村進	C 20	H23. 4. 15
佐田芳夫	E10	H23. 1. 1	溝口久一	M20	H18. 9. 25	水野耀証(昇生)	M22	
小菅道雄	M13		山本色隆	M20	H22. 3. 13	可知正夫	M10	H23. 4. 1
深沢嘉智	M23	H22. 10. 1	荒井和雄	M20	H22. 5. 7	田中光一	M16	H20.
藤岡嘉哲	M12	H22. 3	高橋政之	M20	H17. 6. 15	水谷忠夫	E36	H22. 12.
渥美寛	M17	H22. 12. 27	磯谷真二	M21	H18. 9. 5	鈴木昭雄	W23	H22.
鬼頭巖	M22	H22. 2	角田一男	M21	H21. 10. 23	川上都止夫	C 15	
問山勝	M24	H21. 9	桑子玉昭	M22	H17. 12. 28	森(吉野)真佐雄	⑤20	H23. 5. 7
高志勝	D38			M22	H21. 9. 23	光田総一郎	M54	H22. 3. 1
加藤茂雄	E25	H23. 3. 6		M23	H21. 8. 17	本多博隆	C 11	H22. 7. 31
	M24	H22. 2. 13		M23	H19. 12. 26	中川良隆	M13	H23. 2. 11

謹んで哀悼の意を表します。

(株)ブライダルは
名古屋工業大学会員の皆様の
「結婚」を応援します。

33年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってくだされば

会員サポート **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥189,000 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥330,750 etc.

●ミドル・シニアの方々のプランにも特典がございます。

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) **0120-415-412**
http://www.bridal-vip.co.jp
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪



特許業務法人
英知国際特許事務所
EICHI Patent & Trademark Corp.

所長 弁理士 岩崎 孝治

—— 知財の総合コンサルタント ——

東京本部 〒112-0011 東京都文京区千石 4-45-13
TEL:03-3946-0531代 FAX:03-3946-4340
神奈川支部 〒224-0006 横浜市都筑区荏田東 1-23-2
TEL:045-532-3827 FAX:045-532-3828
浜松支部 〒430-0806 静岡県浜松市中区木戸町 5-11
TEL:053-461-5662 FAX:053-460-6027
山形支部 〒994-0026 山形県天童市東本町 1-2-20
TEL:023-651-6102 FAX:023-651-6102
<http://www.eichi-patent.jp>

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお直打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・定期刊行物 etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる版組みの書籍・表組みの買物も得意分野です。

印刷

カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太郎等の通常のオフセット印刷に過ぎないWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

製本

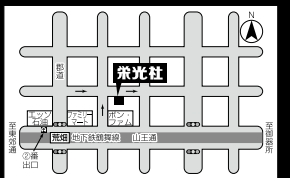
自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・童話・絵本等、自分の本を作りたいたいとお考えの方。
食糧・ニュース・広報・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットよりお手伝いします。

総合印刷の



有限会社 **栄光社**

〒466-0014 名古屋市中区東畑町一丁目42番地
TEL.(052)741-7701
FAX.(052)741-7703
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~eik/>
E-mail eikou@theis.ocn.ne.jp



デザイン
編集 印刷

ならアオイ・システムに!

- お望みの制作物を予算に応じてデザイン・編集・印刷までトータルにお受けします。
- コンサート等、予約管理システムによる座席の管理やチケット発券も承ります。是非一度ご相談を!!



株式会社 アオイ・システム

〒460-0022 名古屋市中区金山 5-5-20 日興ビル 4F
TEL **052-881-1151** FAX 052-884-8522
E-mail takasu@aoisys.co.jp

社団法人名古屋工業会会誌

「ごきそ」に広告を掲載しませんか!

「ごきそ」は15,000部を隔月発行し、
会員・広告主・関係官庁・各学会・大
学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

広報委員会

委員長 樋口 真弘 (W61)
幹事 山本 勝宏 (ZW⑥)

秀島 栄三	山口 啓 (C49)
北川 啓介 (A⑧)	安楽 崇広 (M⑨)
小坂 卓 (EJ⑥)	廣瀬 光利 (E50)
朝倉 睦美 (W54)	野中 久義 (D⑨)
本多 沢雄 (ZY⑥)	道家 清正 (Y30)
平野 春好 (K50)	米谷 昭彦 (F60)
杉江 紘 (F院44)	横山 淳一 (Fb⑥)
三田 晴伸	

会誌「ごきそ」のバックナンバーは、名古屋工業会のホームページ
<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>でご覧いただけます。